

【図書名等】 ゼロ災実践シリーズ 危険予知訓練  
 コード No. 27240 第4版 定価 756 円（本体 700 円＋税 8%）  
 （コード No. および定価（本体価格 600 円→700 円）が変わりました。）

【発行日】 平成 27 年 3 月 20 日

【改訂の概要】 \*箇所は見直し理由

中央労働災害防止協会 2015.3.20

| 改訂のあらまし   | 該当頁(新)  |
|---|---|
| <p>本書はゼロ災運動の研修会で使われるKYTの入門テキストであることから、より効果的に研修内容を理解できるように、部分的に記述内容を追加し、項目の順番を入れ替えるとともに、字句の整理を行った。概要は次のとおり。</p>  |   |
| <p>第1章 ゼロ災害全員参加運動のあらまし<br/>           II 運動発足までの背景と経緯<br/>           ゼロ災運動のシンボルマークの下に、「ゼロ災マークの意味」を追加<br/>           *シンボルマークの理解のため。/</p>  | 9   |
| <p>第3章として、新たな項目を次のとおり追加<br/>           第3章 ヒューマンエラー事故防止<br/>           I 人間の行動特性<br/>           1 人間はエラーする<br/>           2 不注意は災害原因ではない<br/>           II ヒューマンエラー対策<br/>           1 人間特性に基づく事故防止策<br/>           2 ハードウェア対策（物の面）<br/>           3 ソフトウェア対策（人×物の面）<br/>           4 ヒューマンウェア対策（人×心の面）<br/>           *ヒューマンエラーはだれでも起こすことを理解し、ヒューマンエラー事故防止には、ハードウェア、ソフトウェア、ヒューマンウェアの対策を進めることが重要なことから追加をした。</p> | 19～24<br>19<br>19<br>19<br>21<br>21<br>21<br>23<br>24 |
| <p>第4章IIとして、新たな項目を次のとおり追加<br/>           II なぜいま指差し呼称か<br/>           指差し呼称の必要性</p>   | 30～31<br>30<br>30                                     |
| <p>第4章IVとして、新たな項目を次のとおり追加<br/>           IV 指差し呼称の実践<br/>           1 指差し呼称実施上の問題点<br/>           2 指差し呼称とゼロ災運動<br/>           3 指差し呼称を組み込んだKY手法<br/>           *指差し呼称を実践へつなげるため、その必要性和、やらせる手法でなく、みんなでやろうという実践活動につなげるために追加をした。</p>  | 34～36<br>34<br>34<br>35<br>35                         |
| <p>第6章を「ゼロ災運動における健康確保の実践」とし、「指差し呼称」、「指差し唱和、タッチ・アンド・コール」の章の後に移動<br/>           *ハンドブック、トレーナー必携の順番に合わせた。</p>  | 40～48   |
| <p>第7章 危険予知訓練<br/>           III KYTを生かすには<br/>           2 KYT活用3つのレベル<br/>           本文内容を理解しやすいように、「KYT活用技法関係図」を追加</p>   | 80  |

|   |       |
|---|-------|
| <p>*KYT 3つのレベルを理解しやすいように図解した。</p> <p>3 KYTの実践<br/>「(2) ゼロ災チームミーティングのやり方」の項を追加</p>                                     | 81    |
| <p>*具体的なミーティングのやり方を示した。</p> <p>4 金魚鉢方式<br/>「KYTで留意すべき7項目」の前に、4として移動</p>   | 84～86 |
| <p>*KYTの訓練をより効果的なものにすることから、「KYTの実践」の次にした。</p> <p>6 KYTが生み出すもの<br/>職場自主活動を進める上で必要なラインの管理監督者の指導・援助について触れた新たな項目として追加</p> | 89    |
| <p>*KYTを現場が自らやるようになるには、管理者である上司の激励、感謝、指導、援助が欠かせないことから追加をした。</p>   |       |
| <p>IV 作業指示者レベルのKYT</p>  |       |
| <p>1 作業指示STK訓練<br/>「(1) 手法の必要性」の項を追加</p> <p>*作業指示の重要性を理解した上でより効果的な実技へつなげるため追加した。</p>                                  | 90    |